

別紙1-7 定款附属書漁業協同組合総代選挙規程例新旧対照表

(傍線部分は改正部分)

改 正 後	現 行
<p>(被選挙権を有しない者)</p> <p>第一条 次の各号に掲げる者は、被選挙権を有しない。</p> <p>一 (略)</p> <p>二 精神の機能の障害のため職務を適正に執行するに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者</p> <p>三 六 (略)</p> <p>(備考)</p> <p>① 法第十一条第一項第四号の事業を行わない組合で、かつ、同項第十二号の事業を行う組合にあつては、第四号を削除することができる。この場合において、第五号中「前二号」を「前号」とし、同号及び第六号を一号ずつ繰り上げる。</p> <p>② 法第十一条第一項第四号及び第十二号の事業を行わない組合にあつては、第四号及び第六号を削除することができる。この場合において、第五号中「前二号」を「前号」とし、同号を第四号とすること。</p> <p>(選挙管理者等)</p> <p>第六条 組合長は、選挙ごとに理事会の決議により、本人の承諾を得て正組合員の中から選挙管理者一人、選挙立会人四人、選挙区ごとに選挙区選挙管理者一人及び選挙区選挙立会人二人を選任するものとする。</p>	<p>(被選挙権を有しない者)</p> <p>第一条 次の各号に掲げる者は、被選挙権を有しない。</p> <p>一 (略)</p> <p>二 成年被後見人若しくは被保佐人又は外国の法令上これらと同様に取り扱われている者</p> <p>三 六 (略)</p> <p>(備考)</p> <p>① 法第十一条第一項第四号の事業を行わない組合で、かつ、同項第十一号の事業を行う組合にあつては、第四号を削除することができる。この場合において、第六号中「前二号」を「前号」とし、同号及び第六号を一号ずつ繰り上げる。</p> <p>② 法第十一条第一項第四号及び第十一号の事業を行わない組合にあつては、第四号及び第六号を削除することができる。この場合において、第五号中「前二号」を「前号」とし、同号を第四号とすること。</p> <p>(選挙管理者等)</p> <p>第六条 組合長は、選挙ごとに理事会の議決により、本人の承諾を得て正組合員の中から選挙管理者一人、選挙立会人四人、選挙区ごとに選挙区選挙管理者一人及び選挙区選挙立会人二人を選任するものとする。</p>

(備考) (略)	(備考) (略)
(当選人)	(当選人)
第十五条 (略)	第十五条 (略)
2 (略)	2 (略)
(削る。)	3 正組合員たる法人の役員であつて、自らは正組合員でない者が総代に二人以上有効得票の多数を得た場合には、得票数の最も多い者をもつて当選人とする。
(備考) (略)	(備考) (略)
(当選の取消し)	(当選の取消し)
第十九条 選挙後九十日以内に法第百二十五条の規定により当選の取消しがあつたときは選挙管理者は、第十五条の例によつて、当選人を定めなければならない。	第十九条 選挙後九十日以内に水産業協同組合法（以下「法」という。）第百二十五条の規定により当選の取消しがあつたときは選挙管理者は、第十五条の例によつて、当選人を定めなければならない。
2 (略)	2 (略)